

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E142N017		英作文 (English Composition)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
選択	2	3	教育学部 令和2年度以降入学生用		木4	日本語	英語	単独							
担当教員	氏名 麻生 雄治														
	E-mail yujiaso@oita-u.ac.jp 内線 7949														
授業の概要	中学校及び高等学校において生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身につけるとともに、英語を通じて事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら的確に書く能力を伸ばし、実際の社会生活において活用できるようになることをめざす。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	パラグラフ構造を適用し、さまざまなタイプのパラグラフを書くことができる。							○	○						
目標2	聞いたり読んだりした内容について、概要や要点を書くことができる。							○	○						
目標3	書く過程を重視し、目的や場面、状況に応じて、説明や描写の表現を工夫しながら英語で書くことができる。							○	○						
目標4	パラグラフ構成をもとに、エッセイやアカデミックな英文を書くことができる。									○					
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								4	4	2					
授業の内容															
1	ガイダンス、ライティングのための基礎知識														
2	主語の研究														
3	動詞の研究														
4	形容詞の研究(1)														
5	形容詞の研究(2)														
6	副詞の研究														
7	センテンス・コンバイニング:センテンスどうしを効果的に結ぶ方法														
8	助動詞の研究														
9	時制の研究(1)														
10	時制の研究(2)														
11	接続詞の研究														
12	単文の研究														
13	重文・複文の研究														
14	誤文訂正:効果的なフィードバックの与え方(ピア・レスポンス)														
15	Email Writing: 基礎的な英文Eメールの形・表現、上手な英文Eメールの書き方														
ラーニング目標	A:知識の定着・確認	○	小テスト、ペア・グループによる協同学習、ピアレスポンス				工夫の他の								
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造	○													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	予習:練習問題を解きながら、学習内容の概要を(できる範囲で)理解する(15h)。													
	事後学修	復習:学習内容を整理し、与えられたトピックに関する英作文(パラグラフ・ライティング)を書く(30h)。													
	想定時間合計	45													
教科書	大井恭子・伊藤文彦.『英語モードが身につくライティング』(研究社,2012)ISBN 9784327421878														
参考書	授業内で適宜紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト		30%	○	○								
	授業内の活動		10%	○	○	○							
	エッセイ（課題）		10%				○						
	期末試験		50%	○	○	○	○						
注意事項	なし。												
備考	なし。												
リンク	なし。												
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	公立高等学校教員として、授業内外で英語の指導を行った。												
教員以外の 指導に関わる 実務経験者	なし												
実務経験を いかした 教育内容	学習者の理解度に応じた適切な教材、方法、評価を取り入れた授業を展開する。												